

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010290

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	高校への継続的な支援	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	雄武高等学校生徒資格取得支援助成事業					
事業期間	平成25年度～平成26年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	資格取得者数					
事業目標	50人/年					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	12	教育委員会教育振興課	
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名	有 雄武高等学校生徒資格取得支援助成交付要綱		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	資格取得受検費用の助成	資格取得受検費用の助成	資格取得受検費用の助成			
	事業費(千円)	200	100	100	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	200	100	100			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	158	102	56	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	158	102	56			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 資格取得受検費用の助成	(実施内容等) 資格取得受検費用の助成	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/統合	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	50人	50人		
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	102%	56%	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	51%	79%	79%	79%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	雄武高等学校生徒資格取得支援助成事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係長	武 藤 知 憲

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武高等学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	資格試験合格者に対する受験料等の支援											
【抱える課題やニーズは】	生徒数の減少から、高校の存続が問題視されている。	指標(指標計算式/解説)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">目 標 値 及 び 実 績 値</th> </tr> <tr> <td>目 標 年 度</td> <td>平成26 年度</td> </tr> <tr> <td>目 標 値</td> <td>50 人</td> </tr> <tr> <td>実 績 値</td> <td>41 人</td> </tr> <tr> <td>達 成 度</td> <td>82.0 %</td> </tr> </table>		目 標 値 及 び 実 績 値		目 標 年 度	平成26 年度	目 標 値	50 人	実 績 値	41 人	達 成 度	82.0 %
目 標 値 及 び 実 績 値														
目 標 年 度	平成26 年度													
目 標 値	50 人													
実 績 値	41 人													
達 成 度	82.0 %													
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	教育環境の改善を図ることにより、入学者数の減少の抑制を図り、生徒数を維持する。	①	資格試験合格者											
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	生徒数を維持することにより、地域の学校として存続が図られる。	②	<table border="1"> <tr> <td>目 標 年 度</td> <td>平成26 年度</td> </tr> <tr> <td>目 標 値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績 値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達 成 度</td> <td>#DIV/0! %</td> </tr> </table>		目 標 年 度	平成26 年度	目 標 値		実 績 値		達 成 度	#DIV/0! %		
目 標 年 度	平成26 年度													
目 標 値														
実 績 値														
達 成 度	#DIV/0! %													
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	資格取得受験費用助成	生徒41名に対し、資格取得受験費用の助成を行っています。												

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武高等学校を地域の学校として存続させるためには、入学者数の減少の抑制や魅力ある学校づくりの推進が重要であり、引続き行政支援が必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	ソフト面での教育環境の整備を図ることにより、生徒数の確保が図られています。また、助成対象者を合格者に限定していることから、生徒の学習意欲の向上にもつながっていると判断します。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	補助対象者を合格者に限定していることから、コストに見合った効果が得られていると判断します。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	生徒数の維持を図らなければ、高校存続に大きく影響することから、公平性の観点からは問題がないと判断します。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雄武高等学校の生徒数を維持するとともに、魅力ある学校づくりを推進し、地域の学校として存続させるための支援であり、計画どおり事業が進んでいます。		

今後の展開方向
(Action)

継続/統合		
雄武高校通学生徒に対する支援は、保護者の経済負担軽減及び雄武高校の地域としての存続対策として実施しているものであり、各事業の個別評価をするものではなく、総じて評価するものと捉え統合するものであります。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止